

## 応用生態工学会 第3回 近畿ワークショップ in 淀川（二次案内）

～現地で応用！ 淀川ワンド群の取組の歴史と課題～

### 目的と概要：

近畿シリーズワークショップでは、河川流域に着目し、上流域～河口域までのそれぞれの地域で取り組まれている環境保全・再生などの先進的な取組みについての現地見学を行い、さらに講演会・研究発表などを通じて、理論・知識、技術について学ぶことを目的としています。第3回となる本ワークショップでは、近畿地方を代表する河川である淀川を対象とし、下流域のワンドを中心に、その環境の実態、保全・再生の取組みについて学び、管理のあり方や、応用生態工学的に取り組むべき課題について議論することを目指しています。

### テーマ：「淀川ワンド群の取組の歴史と課題」

日時：平成22年10月15日（金）～16日（土）

場所：現地見学会：京都府八幡市周辺木津川～枚方～

～淀川（アクアライナー）～大阪市内大川

会場：1日目：懇親会（大阪市中央区天満橋周辺）

2日目：大阪工業大学（大阪市旭区）

主催：応用生態工学会

後援（予定）：国土交通省近畿地方整備局・淀川河川事務所、河川環境管理財団



### スケジュール（予定）：

一日目（10月15日）：現地見学

現地テーマ：水上から見る淀川の現状と課題

10：00 京阪八幡市駅集合（9：00JR京都駅でのピックアップ）バス移動

10：30 木津川木津川の砂州地形制御・・・（説明：中川先生）

11：30 枚方周辺のワンド見学・・・（説明：国土交通省）

13：30 枚方船着場でアクアライナーに上船（弁当付き）

荒天時欠航の場合はバス移動

14：00 出港

淀川のワンド群や水辺環境を川側から見学

毛馬の閘門を体験

16：30 天満橋、淀屋橋到着

17：00 一日目WS会場（OMMビル 東天紅）

現地の補足説明

各自デジカメの写真よりお気に入り写真をタイトルをつけて提出

18：00 懇親会（東天紅、中華料理）



ECSE  
NAGOYA  
COP10を応援します

### ■ねらい■

- ◇ 木津川では土砂の流れと砂州環境などについて観察します。
- ◇ 枚方周辺のワンドでは現在取り組まれている取り組みを見ます。
- ◇ その後船で淀川を下りながら淀川の下流部の現状を河川内から見ます。
- ◇ 淀川を河川内から見ることは、多くの参加者にとって未体験だと思います。
- ◇ また、参加いただける専門家の先生方から直接解説が聞けそうです。

- ◇ 乗船場所付近が湛水域と流水域の境界近くになります。
- ◇ 大堰の湛水域という独特の環境の現状と課題が見えると思います
- ◇ 湛水域には城北ワンド群をはじめとする多くのワンドがあります。
- ◇ 毛馬の閘門では多数の船が行き来する閘門を実際に船で通過します。
- ◇ 各自、デジカメで写真を撮影いただき次の日のディスカッションネタとして提供いただこうと思っています。

## 二日目（10月16日）：屋内WS

会場：大阪工業大学6号館教室（目の前が城北ワンド群）

10：00 研究発表（ポスター発表）、前日の写真紹介（事務局）

11：00 基調講演

大阪市立大桐中学校 教諭 河合 典彦（以下敬称略）

「淀川の歴史と未来（仮題）」

12：00 昼食（食堂などで各自）

13：00 パネルディスカッション

### 「淀川ワンド群の取組の歴史と課題」

コーディネータ：大阪工業大学 教授：綾 史郎

課題提示 パネリスト：【候補者および想定される課題】

京都大学防災研究所 教授：角 哲也

流域の土砂移動などの観点からの課題

京都大学防災研究所 准教授：竹門 康弘

流域の自然環境の観点からの課題

京都大学防災研究所 教授：中川 一

河川地形の観点からの課題

大阪市立大桐中学校 教諭 河合 典彦

河川環境の変遷と課題

大阪府水生生物センター 上原一彦

地域ぐるみ外来種対策の取り組みと課題

近畿地方整備局淀川河川事務所 所長：森川一郎

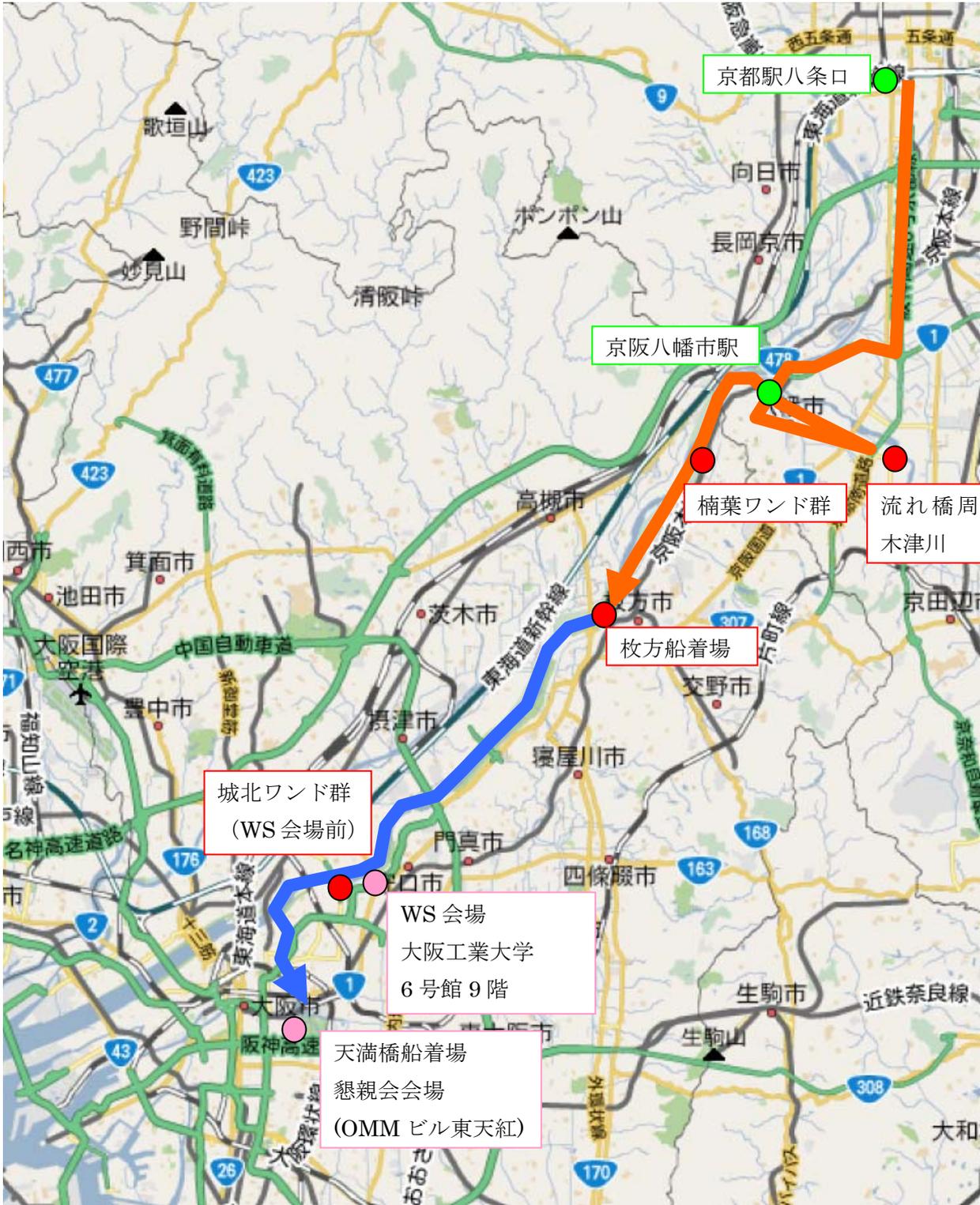
河川行政、河川管理からの課題

16：00 終了



## ■ ねらい ■

- ◇ 淀川での取り組みの歴史と課題などについて基調講演などを通して認識を深めていただきます。
- ◇ パネルディスカッションでは、各種専門分野の先生方に参加いただき、各分野から見た課題を提示していただくとともに、最新の取り組みなどについても議論の中で紹介いただきます。
- ◇ 参加者の視点から見た課題なども話題とします。
- ◇ さらに今後に向けては、これまでの枠組みを超えた取組の必要性、応用生態工学として求められる新たな取組の展開などについて議論します。
- ◇ 淀川にとどまらず、今後の河川のありかたに向けて発展的な議論を目指します。



現地移動・WS会場全体位置図



☆ 定員：1日目：現地見学 50名（現時点の予定）

2日目：ワークショップ 150名

☆ 参加料：

	1日目現地見学	2日目ワークショップ <sup>o</sup>	懇親会
会員	9,000	1,000	別途現地で徴収
一般	12,000	2,000	
学生会員	4,000	無料	
一般学生	5,000	500	
備考	昼食付き		

参加料には資料代、バス代、船代、食事代（1日目昼食）などが含まれています。

現地見学は若干割高ですが、普段体験できない現地見学です。ぜひ参加してください。

一部参加の場合など別途考慮致します。申込時に詳細をお伝えください。

会費は参加日前日までにお振込いただくことを原則とします。

☆ 研究発表募集

今回のWSに関連して、研究発表（ポスター発表）を募集します。

テーマは、ワンドなど河川下流域の環境、整備などに関するテーマなど広く募集致します。お申し込み時に研究発表の希望をお申し出ください。

☆ CPD 単位：10 単位

本ワークショップは、土木学会継続教育（CPD）プログラムに認定されています。

☆ 参加お申し込み

FAX あるいはメールにて必要事項（申込書参照）を記入の上、下記までお申し込み下さい。

応用生態工学会 大阪 地域研究会連絡責任者：厨子和典

FAX：06-6125-3347 E-mail：[zvs04062@nifty.com](mailto:zvs04062@nifty.com)

お申し込みの締め切りは9月30日とします。

☆ 参加料振り込み

銀行名：みずほ銀行天満橋支店

口座名義：応用生態工学会大阪古川整治

口座番号：（普通）2166367

